

はじめの一歩②

7月26日(月) ~ 7月27日(火)

IN 京都市立花脊山の家

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	川遊び	キャンプファイヤー
2日目	清掃・野外炊飯	施設を出発・解散	

一日目: 夏キャンプ第一回目として、最高の天気のもと開催となりました。今回は貸しきりバスにて施設へ向かいました。初めは緊張や不安でおとなしかったメンバーが多く、車内は静かでしたが、徐々に交流を増やしていくにつれ、後半はとても賑やかな車内でした。初日のプログラムは川遊びですが、その前に昼食を済ませました。川遊び出来る格好に着替え、待ちに待った川遊び!!誰もが躊躇なく、我先にと川に進みました。静かに遊ばれているところに水を掛けられると、飛びっきりの笑顔でやり返されていた様子が印象的でした。川遊び後、施設に入所し、施設の使い方を職員の方から聞きました。そして一泊過ごすロッジに入ると、早速寝る場所などを決めたり、ロッジ内を探検されたり、おおはしゃぎでした。夕食後は最後のプログラムであり、みんなが楽しみにされていた“キャンプファイア”です。リーダー達が盛り上げてくれるレクリエーションに照れながらも楽しそうにされていました。ファイア開始は日も落ちておりませんが、終わる頃にはキレイな星空を見る事が出来ました。

二日目: 昨日、存分に楽しめたようで起床時間までしっかり休まれました。起き次第、身支度を整え、朝食作りに向かいました。朝食は定番の“パックサンド”です。定番といっても、ほとんどのメンバーが初めてなので、一つ一つの行程を楽しそうにされていました。味はもちろん保証付きで美味しく、ペロリと2つをたいらげておられました。食後は清掃を済ませ、最後のプログラム“野外炊飯”です。こちらほとんどの方が初めてで、【野菜切り】、【火起こし】、【米研ぎ】、どれも『はじめの一歩』であり、ふざけることなく一生懸命に取り組まれていました。担当していた係が早く終わった方は、何かお手伝い出来ないか探されている姿も伺えました。みんなで力を合わせたカレーの味は絶品で、どのグループも完食されていました。片付けは少し手間取ってしまい時間がかかりましたが、最後まで力を合わせてやり遂げました。あっという間の一泊二日、全てのプログラムを終えると緊張が解けたのか、お疲れの色がチラホラ見えていました。施設へ挨拶を済ませて、出発しました。帰りの車内は皆休まれて、静寂の中、帰路に付きまして。



<キャンプ総括>

今回のはじめの一歩は、定例会員も経験者もおられず、皆“はじめて”参加の方々がお集まりいただいた、正に【はじめの一歩】でした。キャンプのシステムや流れをグループの中でリードされる方もおられず、当初は正直やりたい放題の様子でした。しかし、そうした中でも、いち早くキャンプとしての集団行動に対して気付き、意識される方がおられ、その方々が自然とリードされる様子が伺えました。主導される方が、グループを呼んだり、整列させたり、意見を聞き、グループを動かそうという姿勢にとっても嬉しく感じました。そうした“気付き”、“想い”が広がり、初日の夜には気が付けば、集団行動されていました。一つのものに皆で向かう道中で、今回のような主導性が現れるのは、まさにキャンプの魅力であり、目的です。ご参加いただきましたメンバー皆様にとって、今回の経験がご成長のきっかけとなり、大きな糧となる事を願っています。(竹中 哲郎)